

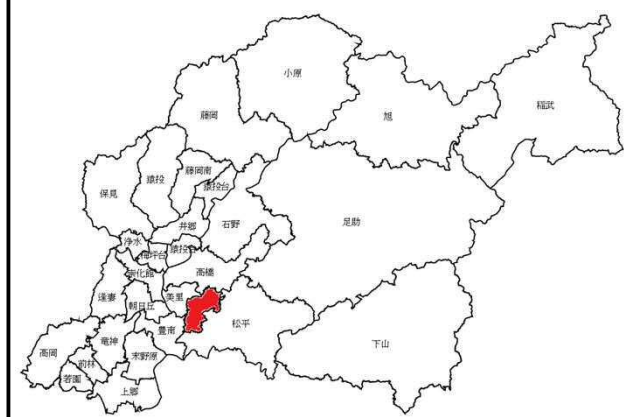
# 益富地域

# 自治力見える化カルテ (1/2)

## 地域概要 (地域の構造)

基礎データ (平成30年4月1日現在)

【位置図】



【地域特性】

益富地域は、豊田市街地から東へ約5キロに位置し、明治の町村合併により高橋村を経て現在に至っています。旧市街地と五ヶ丘団地をはじめとする住宅団地からなり、地域の東部は緑が多く閑静なところです。豊かな自然を生かして「ゲンジボタル」の飼育に取り組んでいます。また、神社仏閣や、市の無形民族文化財にも指定されている「古瀬間囃子」もある歴史と伝統ある地域でもあります。公共交通機関の充実、交通安全対策、自然環境の保全などが地域課題として認識されていますが、急速に進む高齢化も大きな課題となっています。

面積	6.66 km <sup>2</sup>	( 0.7% )	[市 918.32 km <sup>2</sup> ]
人口密度	1,968 人/km <sup>2</sup>	( 426.0% )	[市 462 人/km <sup>2</sup> ]
人口	13,108 人	( 3.1% )	[市 424,500 人]
男性	6,577 人	( 3.0% )	[市 221,768 人]
女性	6,531 人	( 3.2% )	[市 202,732 人]
うち外国人人口	116 人	( 0.7% )	[市 16,327 人]
世帯数	5,047 世帯	( 2.8% )	[市 178,410 世帯]
平均年齢	47.45 歳	( 4.7歳 )	[市 42.73 歳]

【人口】

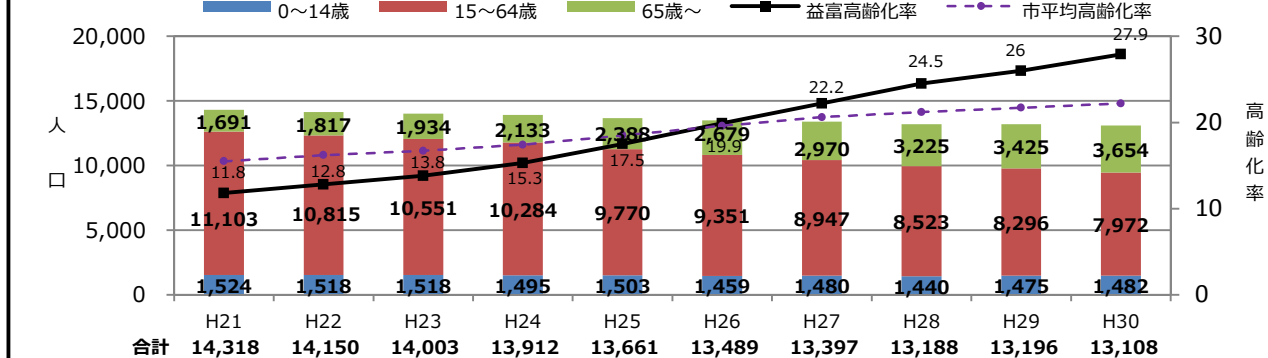
【年齢4区分別人口の推移】 (単位: 人、%)

	H25	H30	増減数	増減率
合計	13,661	13,108	△ 553	△ 4.0
0~14歳	1,503	1,482	△ 21	△ 1.4
15~64歳	9,770	7,972	△ 1,798	△ 18.4
65歳~	2,388	3,654	1,266	53.0
75歳~(再掲)	795	1,088	293	36.9
高齢化率	17.48	27.88	10.40	59.47

【人口動態】 (単位: 人)

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
合計	△ 172	△ 92	△ 209	8	△ 88
自然増減	△ 10	18	△ 23	2	△ 18
社会増減	△ 162	△ 110	△ 186	6	△ 70

【人口推移】



地域自治

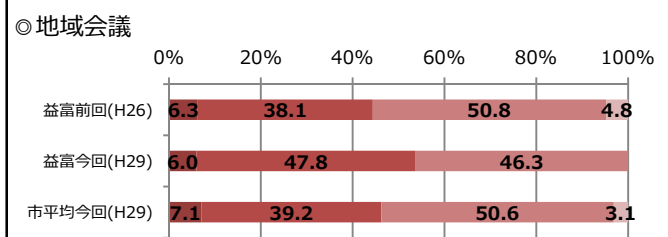
出典: H29地域自治システム評価アンケート

【地域課題】 (地域の課題認識が高い順) (単位: %)

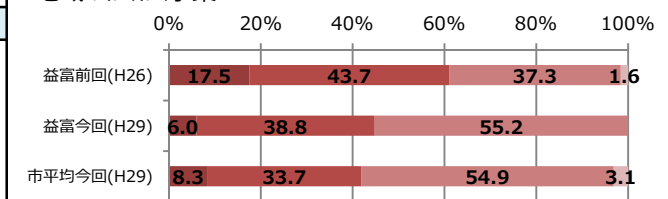
課題・問題点の項目	益富	豊田市	差
公共交通機関の充実	58.2	44.3	13.9
豊かな自然環境の保全	50.8	40.3	10.5
交通安全対策の推進	50.0	53.9	△ 3.9
広場、公園などの施設の整備	45.5	39.5	6.0
防犯対策の強化	44.8	40.5	4.3
医療の充実	43.3	47.2	△ 3.9
買い物の不便の解消	43.3	43.8	△ 0.5
生活道路・交通をスムーズにすること	41.1	45.4	△ 4.3
若年層の定住促進策の拡充	38.8	33.6	5.2
高齢者の生きがいづくりの場などの充実	38.0	38.0	0.0
住民同士の交流の場や機会の拡充	36.5	34.2	2.3
空き家や耕作放棄地の対策の強化	35.8	32.8	3.0
子育ての支援の充実	34.3	38.1	△ 3.8
福祉対策の充実	32.1	31.8	0.3
市街地の活性化と魅力づくりの推進	31.4	31.3	0.1
郷土の歴史・伝統・文化の保存と再生	29.8	32.0	△ 2.2
鳥獣害対策の強化	27.6	28.9	△ 1.3
防災対策の充実	26.1	36.8	△ 10.7
近所での働き口の創出	23.9	25.8	△ 1.9
農業・農地を保全すること	23.9	26.2	△ 2.3
観光によるまちづくりの推進	14.9	18.9	△ 4.0

【地域自治システム認知度】

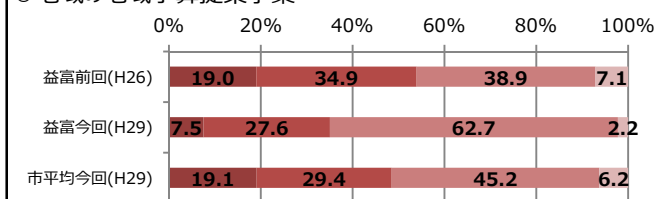
知っている 聞いたことはある 知らない 回答なし



◎地域のわくわく事業



◎地域の地域予算提案事業



【コメント (地域概要)】

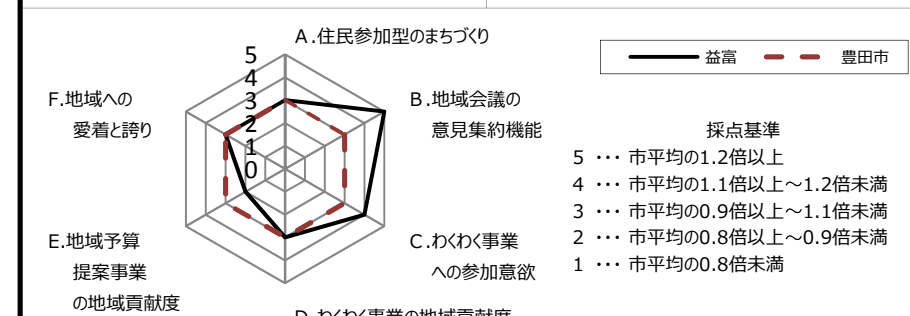
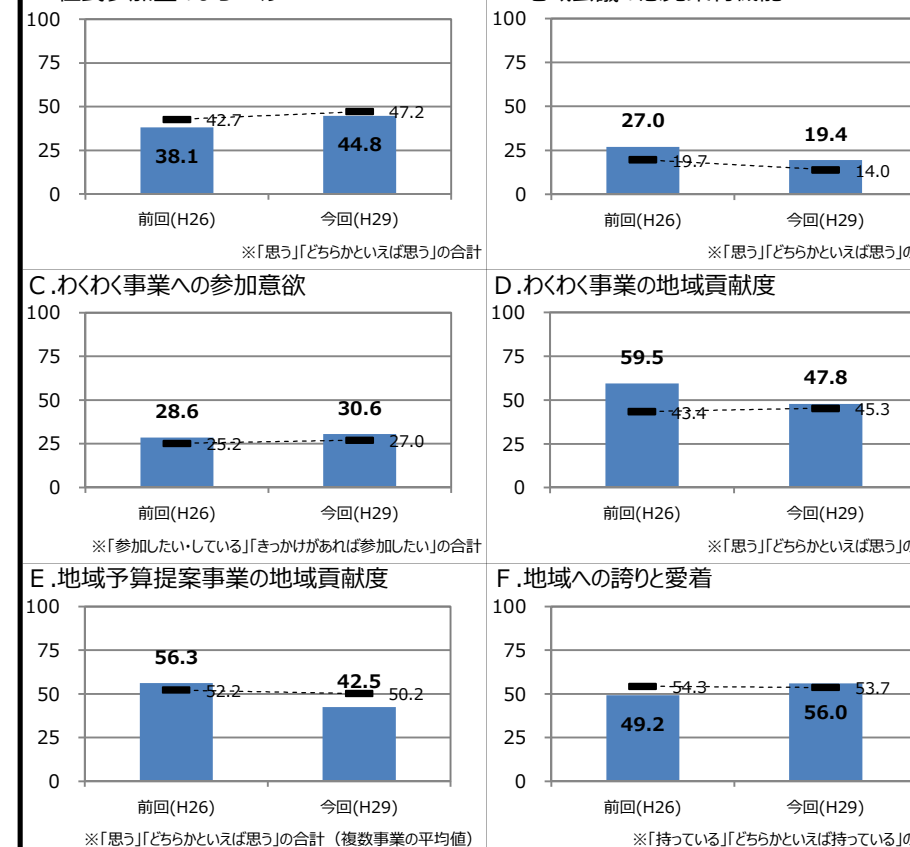
益富地域は年約2%の率で急速に高齢化が進行するという大きな課題が横たわります。このことが認識上位の地域課題のみならず、中・下位の課題を重大化させる危険性があります。

## 意識 (アンケートから診る意識面の自治力)

出典: 地域自治システム評価アンケート

意識面自治力の推移 (レーダーチャート)

益富 豊田市 (単位: %)

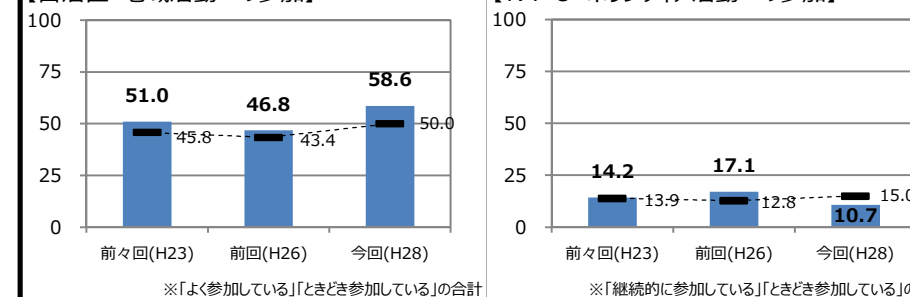


## 行動1 (アンケートから診る行動面の自治力)

出典: 市民意識調査

行動面自治力の推移

益富 豊田市 (単位: %)



【コメント (意識及び行動1)】

意識面自治力については、A. 住民参加型のまちづくり、E. 地域予算提案事業の地域貢献度の2項目が、市全体より下回っています。特にEの項目は、7.7ポイント差があります。行動面自治力については、「自治区・地域活動への参加」が前回調査から11.8ポイント増加している一方で、「NPO・ボランティア活動への参加」が6.4ポイント減少し市全体を下回るという対照的な結果となっています。地域活動への関心の高まりが、NPO・ボランティア活動にも波及することが期待されます。

# 自治力見える化カルテ（2 / 2）

## 行動2（分野別取組から診る行動面の自治力）

健康	交流館自主グループ	12 団体	わくわく事業関連団体	1 団体	交流館自主グループ	1 団体	わくわく事業関連団体	団体
	スポーツ推進委員	6 名	ヘルスサポートリーダー	6 名	民生委員児童委員	20 名	お元気ですかボランティア	19 名
	高齢者クラブ	8 団体	その他団体	団体	ささえあいネット	19 団体	その他団体	団体
	活動例：【健康体操など】 講座をきっかけに「エクササイズ」の新しい自主グループが誕生。「健康体操」「太極拳」「エアロピクス」「骨盤体操」などのメニュー有ります。				活動例：【お元気ですかボランティア】 平成22年より訪問活動を開始した事業で、ひとり暮らし高齢者等の自宅をお元気でボランティアが訪問し、話を傾聴することで、安否確認と孤独感の解消を図っています。			
	コメント： これからも新しい自主グループが誕生し、活動がどんどん発展するといいです。				コメント： 豊田市内で一番お元気ですかボランティアの数が多地域です。高齢化社会に向けて活躍が期待されます。			
観光・産業	交流館自主グループ	団体	わくわく事業関連団体	団体	交流館自主グループ	23 団体	わくわく事業関連団体	団体
	その他団体	団体	—	—	その他団体	団体	—	—
	活動例：【 】				活動例：【文化活動】 一般教養・書画・音楽・芸能・茶華道・料理・手工芸など数多くの自主グループが活動、活躍しています。			
	コメント：				コメント： 同じ趣味や目的を持った人たちの交流が、今後も継続して活躍していただきたいです。			
環境・景観	交流館自主グループ	団体	わくわく事業関連団体	10 団体	交流館自主グループ	団体	わくわく事業関連団体	団体
	その他団体	団体	—	—	自主防犯団体	18 団体	自主防災会	14 団体
	活動例：【益富虫友会】 益富地域内で「ゲンジボタルの生息地」の拡大を図るため、餌の飼育・ホタル幼虫飼育を行っています。さらに小学生等にホタルを通じて生命や環境についての学習の機会を提供しています。また、毎年「ホタル観賞会」を開催しています。				活動例：【防犯・防災活動】 各自治区において自主防犯団体が自主的にパトロールを実施。また、自主防災会が防災訓練を行い安全で安心して暮らせるまちづくりに取り組んでいます。			
	コメント： ホタルを通しての自然・生活環境の保全や改善に貢献しています。				コメント： 高橋・美里・益富地域合同で「防災講演会」を開催するなど、防災に対する意識は高い地域です。			
子どもの健全育成	交流館自主グループ	1 団体	わくわく事業関連団体	2 団体	交流館自主グループ	4 団体	わくわく事業関連団体	2 団体
	主任児童委員	2 名	放課後児童クラブ	3 団体	その他団体	団体	—	—
	活動例：【益富子どもと文化をつなぐ会】 地域のこども園、小学校の子どもたちに、世界で活躍している語り部・音楽家の実演を観てもらい、文化が育む地域、子どもの心が豊かに成長することを目的として活動しています。				活動例：【地域活動・ボランティア活動】 地域交流の場提供、園芸・花壇整備・里山保全等で活躍をしています。			
	コメント： 語り部のお話を聞く機会はあまり無いので、子どもたちにとって貴重な体験です。				コメント： 地域での活動は認知度も高く、地域に貢献しています。			
その他1	【 】				【 】			
	コメント：				コメント：			

### 【コメント（行動2）】

当地域のわくわく事業関連団体等の各種団体の活動は、観光産業を除き健康や福祉など多岐に渡っています。地域の課題認識が高い自然環境保全については積極的な活動が展開されており、課題解消に貢献するとともに、地域の活性化や人と人との繋がりにも大きく寄与しています。しかし、公共交通機関分野については地域の団体活動では限界があり、有効な手立てがない状況です。また、急速な高齢化についても、携わる人や団体は地域内にありますが、新たな担い手の確保等、その対策が必要となっています。

## 行動3（事業の展開から診る行動面の自治力）

【わくわく事業実績】											
事業分類	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	
①保健、医療、福祉の推進									1	1	
②地域の伝統、文化、郷土芸能又はスポーツの振興			1							1	
③安心・安全な地域づくり	1	1									
④地域の生活環境改善、景観づくり 自然環境保全	5	10	5	7	9	10	10	11	10	9	
⑤子どもの健全育成	1	2	1	2	1	1	1	2	2	2	
⑥地域の特性を生かした産業振興											
⑦地域づくりに有効な助言や提案を受けるための事業											
⑧その他個性豊かな住みよい地域社会を構築するための事業									2	2	
事業件数（件）	7	13	7	9	10	11	11	13	15	15	
実績額（千円）	2,991	1,206	1,158	1,126	1,625	1,690	1,929	2,038	2,263	1,818	
※H30は、平成30年7月31日現在											
【地域予算提案事業実績】											
事業名	事業分類	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
犯罪の起こりにくい地域づくり推進事業	防犯対策			2,299	936	90					
益富の自然と地域資源を活かした健康・文化交流事業	健康増進					495	8,869	7,364	407		
古瀬間城址公園を活用したふれあいの場づくり事業	文化活動									6,958	12,405
実績額（千円）											
※H30は当初予算額											

### 【コメント（行動3）】

公共交通機関の充実、自然環境保全、交通安全対策、防犯対策が地域課題の認識上位となっていることから、地域予算提案事業では防犯対策として防犯広告三面塔の設置などを実施しました。今では市内において比較的犯罪発生件数の少ない地域になっています。また、わくわく事業では活動する過半数の団体により、自然環境保全をはじめとする生活環境の改善に取り組まれています。その一方で、将来人口推計から見て高齢者対策が不可避となっており、地域においてその対策が模索されています。

## 総評

人口推計において65歳以上人口が、平成27年の2,970人から平成37年の4,918人と10年で1,948人、高齢化率は2.2%から4.1%に増加しています。平成47年には4,527人と減少しますが、高齢化率は約4.6%と増加しています。これは当地域の人口推計自体が平成47年は9,844人と、平成27年に比べ3,553人減少していることによります。特に人口減少が大きい年齢層は、15～64歳で、平成27年で8,947人が、平成47年では4,700人とほぼ半減します。これらのことから、近い将来を見据えた高齢者対策（買い物や病院受診など生活のための移動手段の確保、介護の負担軽減を図る社会資源の増、高齢単身世帯への安否確認を含んだ生活支援、災害時の安全確保、生きがいづくり、健康寿命を伸ばすなどの取組）の推進が必要です。また、自治区活動を支える年代の減少により、自治区活動をどう維持していくのかも考える必要があります。併せて、14歳以下の人口も平成2年の4,742人から平成47年の617人と減少することから、少子化対策や安心して子育てができる環境整備も必要です。